

学力調査の活用に向けて

教育庁指導部 主任指導主事 山本 周一

都内の公立小学校・中学校では、国、東京都の学力調査に加え、区市町村によっては独自の学力調査が行われています。どの調査も、児童・生徒の学習の定着状況を把握して、それぞれの課題を解決するための授業改善や一人一人に応じたきめ細かい指導を展開するために行っているものです。

右に示したのは、上は平成28年度都の学力調査（第5学年）で出題した問題であり、下は29年度の国の学力調査（第6学年）で出題された問題です。

第5学年のときの正答率は65.4%でしたが、第6学年での正答率は86.0%でした。問題に用いられている数字や記述、選択式といった答え方について違いはありますが、20%以上上昇していることがわかります。このように、各調査を可能な部分だけでも、関連付けて見ることで、児童・生徒の定着状況が客観的にわかります。

算数や数学などの系統性の強い教科は、分らなくなるとその後の学習が大変になりますし、取り戻すのに時間がかかります。調査を活用して、取り組むチャンスを生かしてください。

色紙が何まいかありました。3人で同じまい数ずつ分けたら、1人分は45まいでした。

(1) 色紙全部のまい数を□まいとして、1人分のまい数が45まいであることを□を使った式で表そうと思います。次の□に当てはまる式を□を使って書きましょう。

$$\square \div 3 = 45$$

正答 $\square \div 3$ **正答率** 65.4%

【平成28年度児童・生徒の学力向上を図るための調査】

はじめにシールを何枚か持っていて、5人で等しく分けたら、1人10枚ずつになりました。

このことを、はじめに持っていたシールの枚数を□枚として式に表します。下の1から4までの中から、正しい式を1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 $\square \times 5 = 10$ 2 $10 \times \square = 5$
3 $\square \div 5 = 10$ 4 $10 \div \square = 5$

正答 3 **正答率** 86.0%

【平成29年度全国学力・学習状況調査】

掲載内容

- 平成29年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査問題の解説及び授業改善について
- 平成29年度「全国学力・学習状況調査」（東京都公立学校実施分）の分析結果について
- 新幼稚園教育要領が告示されました
- 平成29年度 就学前教育カンファレンスを開催しました

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか？

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にいただければと思います。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

「学び応援ページ」を御活用ください！

**東京ベーシック・ドリルも
掲載しています！**



東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このリンク用バナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

平成29年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」調査問題の解説及び授業改善について

平成29年7月6日（木）、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施しました。今回は、中学校の問題における、生徒一人一人の学習上の課題やつまずきの状況を把握するとともに、授業改善へとつなげる取組の例を紹介します。

★中学校・国語 7(1)

【出題の趣旨】

集めた材料をもとに自分の考えをまとめ、材料を分類するなどして整理して書くことができるかをみる。

【取材メモ】

●図書担当の先生に取材したこと

- ア — 蔵書数一万八千冊。 → 市内の中学校で最も多い。
- イ — 図書館内に季節ごとの特集コーナー。（図書委員会で話し合い）
- ウ — パソコンコーナー → 本だけでは調べられないことも、すぐに調べられる。

●図書委員に取材したこと

- エ — 月に一度、朗読会や本の紹介。（読書が好きな生徒が増えるように）
- オ — 「リクエストボックス」（図書館に入れてほしい本をリクエスト） → 図書委員が先生と相談して決定。
- カ — 辞書や学習参考書が豊富。静か。定期テスト前の勉強場所としておすすめ。

【問題の概要】

●学校紹介パンフレットをつくる

学校図書館の魅力として紹介する「生徒が図書館の運営に参加できること」を書くために使うメモの内容を、【取材メモ】の**ア**から**カ**までの中から三つ選ぶ。

【正答】イ・エ・オ（完答）

【この問題について】

課題を解決するために必要な情報を集めたり、集めた情報を内容や重要度などから分類・整理したりする活動を設定して、根拠を明確にして自分の考えを発信する力を身に付けさせることが大切です。

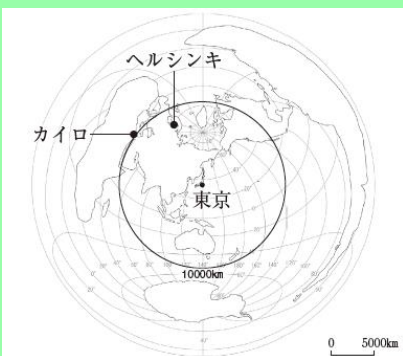
【課題設定の例】

- データをもとに20年後の暮らしを予想しよう！
- データで検証！どこまで子供？どこから大人？
(これらの課題の指導のポイントについては「報告書」に掲載します。)

★中学校・社会 1(2)

【出題の趣旨】

世界地図を用いて、地球上の位置を捉えることができるかをみる。



【問題の概要】

カイロは、東京から（ b ）の方角にあり、ヘルシンキより（ c ）にある。

（ b ）、（ c ）に当てはまるものの組み合わせとして最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

	b	c
ア	北西	遠く
イ	北西	近く
ウ	西	遠く
エ	西	近く

【正答】ア

【この問題について】

距離と方位が正しい世界地図を用いて、東京から見たカイロの方角、東京からカイロ、ヘルシンキまでの距離を読み取ることで、正答を導くことができます。

生徒は、日本を中心に描かれた経線や緯線が直交する世界地図などに影響された世界観をもっていることが多いです。そこで、世界地図については、面積の正しい地図や中心からの距離と方位の正しい地図など目的に応じた様々な地図があることを取り上げて、それらの特色に留意して読み取る学習活動を通して、適切な活用方法を身に付けることが大切です。

教室に地勢や国を表す地球儀を置いたり、世界地図を教室に掲示したりして、折にふれて様々な地図を活用するなどの配慮し、日常的に地球儀や世界地図に親しませるようにしましょう。

★中学校・数学 4(2)

4 駅から学校までの案内図を印刷することになりました。【C印刷会社の印刷料金】は、次のようになっています。あとの(1)~(3)の各問題に答えなさい。

【C印刷会社の印刷料金】

印刷料金は、以下の2つの設定があります。

【Aプラン】 何枚でも8000円

【Bプラン】 200枚以下の分の枚数については1枚あたり25円
200枚を超える分の枚数については1枚あたり23円

AプランとBプランのどちらのプランにしても印刷料金が同じになる枚数を求めるために、印刷する枚数を x 枚として次の方程式を作りました。あとの①と②の問題に答えなさい。

$$5000 + 23(\text{あ}) = 8000$$

【出題の趣旨】 式が表す数量が分かるかをみる。

【問題の概要】

方程式の下線部 5000 が表す数量として最も適切なものを、次のア~エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

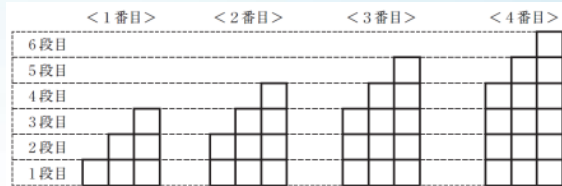
- ア Aプランで 200 枚印刷したときの料金
- イ AプランとBプランの料金が同じになる枚数
- ウ Bプランで 200 枚印刷したときの料金
- エ Bプランで 8000 円分印刷したときの枚数

【正答】 ウ

【この問題について】

過去の調査から、具体例に沿って実際に数えることと、文字を使った式に表すこととの間に大きな正答率の差があることがわかりました。

生徒の実態に応じ、小学校からの系統性や思考の過程を考慮した細かなステップを設定することで、この差を埋めていく手立てを考えていく必要があります。



(1) 6番目のタイルの枚数が分かる。

21 (正答)

80.2%

(2) n を使った式で表すことができる。

$3(n-1)$, $3n-3$ (正答)

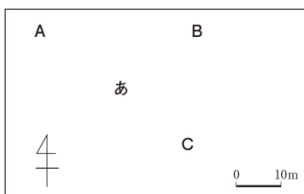
20.5%

正答率に差がある

平成28年度調査 中学校数学4

★中学校・理科 9(2)

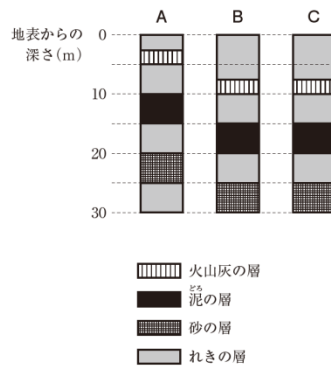
【図1】 段丘



【表】

地点	A	B	C
標高 (m)	50	55	50

【図2】



【出題の趣旨】

柱状図と地形の特徴から地層の傾きを捉えることができるかをみる。

【問題の概要】

この地域の地層はどちらからどちらに向かって傾いているかを表したものとして最も適切なものを、次のア~エの中から1つ選び記号で答えなさい。

- ア 北から南
- イ 南から北
- ウ 東から西
- エ 西から東

【正答】 ア

【この問題について】

過去の調査から、「比較・関連付けて読み取る力」に課題があることがわかりました。

この問題では、【表】を基に地形の特徴を把握した上で、AからCまでの各点における柱状図(【図2】)を、【図1】に当てはめ、この地層の傾きを答えます。

方眼紙などの用紙を活用し、一つ一つの柱状図を比較する学習活動を意図的に設定することが有効です。図示による視覚化を通して、複数の事象を比較することで、実感を伴った思考の深まりをもてるような学習活動を、計画的に取り組みさせることが重要になります。

<放送文>

Hello, everyone. This is my first class. I'm your English teacher, Alice Murray. Please call me Alice. I'm from Canada. I lived in the U.S. six years ago. I studied Japanese there. After that, I came to Japan. I live in Shinjuku now. You can see people from many countries in Shinjuku. It's a nice place.

I like cooking. I am good at cooking Chinese food. I like gyoza very much. I like music, too. My favorite music is jazz. I'm in a jazz band. I practice with other members every Sunday. I can teach guitar to you. Let's play jazz music together after school. OK?

(生徒の複数の声で Yes, let's.) OK.

【問題の趣旨】

まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができるかをみる。

【問題の概要】

アリス (Alice) 先生が英語の授業で自己紹介をします。自己紹介を聞いて、次の問題の答えとして最も適切なものを、それぞれア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

アリス先生はどこで日本語を勉強しましたか。

- | | | | |
|---|-----|---|---------|
| ア | カナダ | イ | アメリカ合衆国 |
| ウ | 日本 | エ | 中国 |

【正答】 イ

【この問題について】

過去の調査から、「聞くこと」の問題において「話の詳細の理解」に課題があることが分かりました。この問題では、□の英文の there が下線部の国を想起させる語のうち、どれを指しているかを判断し、「アリス先生がどこで日本語を勉強したのか」という詳細を答えます。まとまりのある英文を聞いて詳細 (必要な情報) を聞き取るためには、語彙や文法について指導するとともに、聞く際の状況や目的を明示して、どういう情報が必要か考えさせた上で、その部分に集中して聞き取る活動を行わせることが大切です。

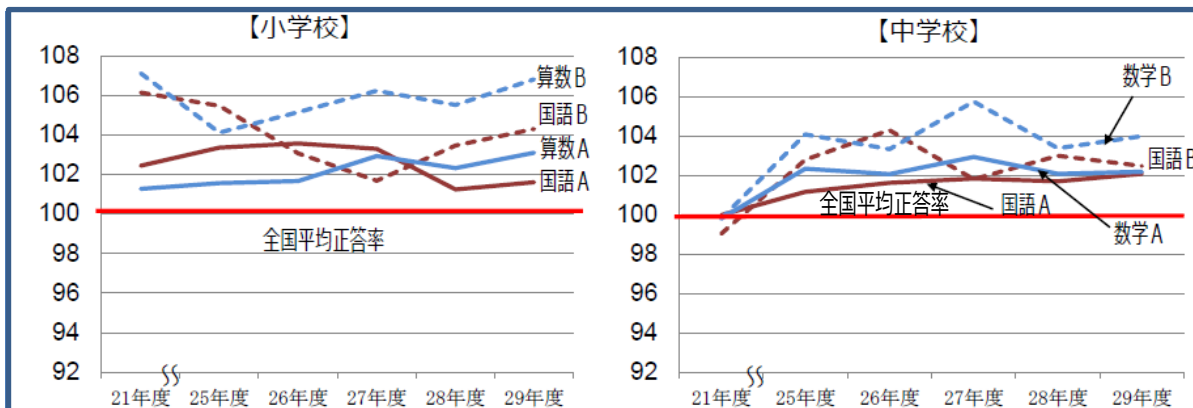
平成29年度「全国学力・学習状況調査」(東京都公立学校実施分)の分析結果について

文部科学省は、平成29年4月18日(火)に小学校等6学年及び中学校等3学年を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果を、平成29年8月28日(月)に公表しました。

東京都教育委員会では、東京都公立学校の調査結果を分析し、平成29年10月12日(木)に公表しました。

【標準化得点の推移】(全国の平均正答率を100としたときの東京都の得点の推移)

※標準化得点：各年度の全国平均正答率をそれぞれ100としたときの得点



○小学校は平成19年度の調査開始以降、中学校は平成25年度以降、全国平均正答率を上回っており、小・中学校ともに、その状況を概ね維持しています。

以下のURLから詳細を確認することができます。

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/10/12/03.html>

新幼稚園教育要領が告示されました

改訂の基本方針

- 幼稚園教育において育みたい資質・能力の明確化
- 現代的な諸課題を踏まえた教育内容の見直し
- 小学校教育との円滑な接続

新幼稚園教育要領の構成

新幼稚園教育要領の基本方針の理念を明確にし、社会で広く共有されるよう、「前文」が新設されました。

前文

- 第1章 総則
 - 第1 幼稚園教育の基本
 - 第2 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」
 - 第3 教育課程の役割と編成等
 - 第4 指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価
 - 第5 特別な配慮を必要とする幼児への指導
 - 第6 幼稚園運営上の留意事項
 - 第7 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動など
- 第2章 ねらい及び内容
 - 「健康」 「人間関係」 「環境」 「言葉」 「表現」
- 第3章 教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動などの留意事項

基本原則を示す「総則」を抜本的に改善し、必要な事項が分かりやすく整理されました。

「5領域の枠組み」については、現行の幼稚園教育要領からの変更はありません。

「環境を通して行う教育」という、幼稚園教育の基本は、変わりません。

改訂のキーワード（学びの連続性を踏まえ、新しく示された言葉）

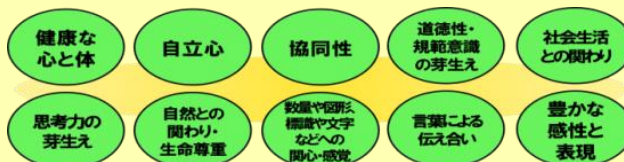
幼児期の教育における見方・考え方

幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりすること

幼稚園教育において育みたい資質・能力

- 知識及び技能の基礎
- 思考力、判断力、表現力等の基礎
- 学びに向かう力、人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿



※ これらの姿は、到達すべき目標ではなく、幼稚園教育において育みたい資質・能力が育まれた、5歳児後半に見られるようになる姿です。

新幼稚園教育要領は、平成30年度から全面実施となります。教育課程や全体的な計画の見直しなどの準備を計画的に進めましょう。

平成29年度 就学前教育カンファレンスを開催しました

今年度の就学前教育カンファレンスは、新幼稚園教育要領の改訂の基本方針の一つである、**就学前教育と小学校教育との円滑な接続**をテーマに据え、7月25日(火)に開催しました。

当日の会場には、幼稚園及び保育所等の保育者や小学校等の教員、教育委員会関係者、区市町村保育主管課関係者など、様々な立場から700名を超える参加者がありました。



【内容】

- 1 東京都教育委員会から 「東京都の就学前教育の現状について」
- 2 パネルディスカッション「就学前教育と小学校教育との円滑な接続の実態について」
〈パネリスト〉 公立幼稚園長、私立幼稚園長、公立保育園長、公立小学校長

パネルディスカッションの主な内容

- 円滑な接続のための実践について
- 施設による課題や解決へ向けての方策について
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の活用について

それぞれの立場から具体的に話していただき、**円滑な接続のための工夫や子供の発達の連続性への意識、就学前教育と小学校教育の互いの理解の重要性**などについて、考えることができました。

- 3 講演 「これからの就学前教育と小学校教育との円滑な接続」
〈講師〉 東京大学大学院 教育学研究科 教授 秋田 喜代美 先生

講演の主な内容

- 幼稚園教育要領の改訂や国際動向からみる幼小連携
- 今後の実践に向けて
- 効果的な連携や円滑な接続のために

学びに向かう力の育成や教育方法の連続性、互恵性のある幼保小連携の意味などについて、最新情報とともに、教えていただきました。

参加者の声

【保育者より】

- 幼・保・小、**様々な立場の実践や実態を知ることができ**、接続への理解が深まりました。就学前教育施設と小学校との**互恵性のある連携活動を工夫**し、円滑な接続につなげていきたいです。
- 就学前教育施設と小学校の**互いの教育の理解**のためにできることとして、公開日の活用が有効だと分かったので、**小学校の学校公開に行ってみます**。また、本園の教育を小学校に知ってもらえるよう、近隣の小学校に園だよりを配布するなどして、**園の情報を発信**していきます。

【小学校教員より】

- **1年生の学びはゼロからのスタートではないこと、幼児期の育ちを小学校で受け止める必要があること**に気付きました。本カンファレンスには、多くの**小学校教員が参加する必要がある**と思います。

就学前教育関連事業は、**小学校教員等**も参加の対象にしています。

新小学校学習指導要領では、総則の中で「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、低学年の教育全体において指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められています。

つまり、小学校等においては、全面実施までの間に「就学前教育と小学校教育との円滑な接続」に向けた準備を進めていくことが求められています。そのため、就学前教育関連事業は、都内全ての**就学前教育施設（幼稚園・保育所等）の保育者だけではなく、小学校教員や特別支援学校教員**も参加の対象にしています。

「就学前教育カリキュラム改訂版」をご活用ください。⇒

「就学前教育カリキュラム改訂版」は、東京都教育委員会HPに掲載しています！

東京都教育委員会HP→



→就学前教育

